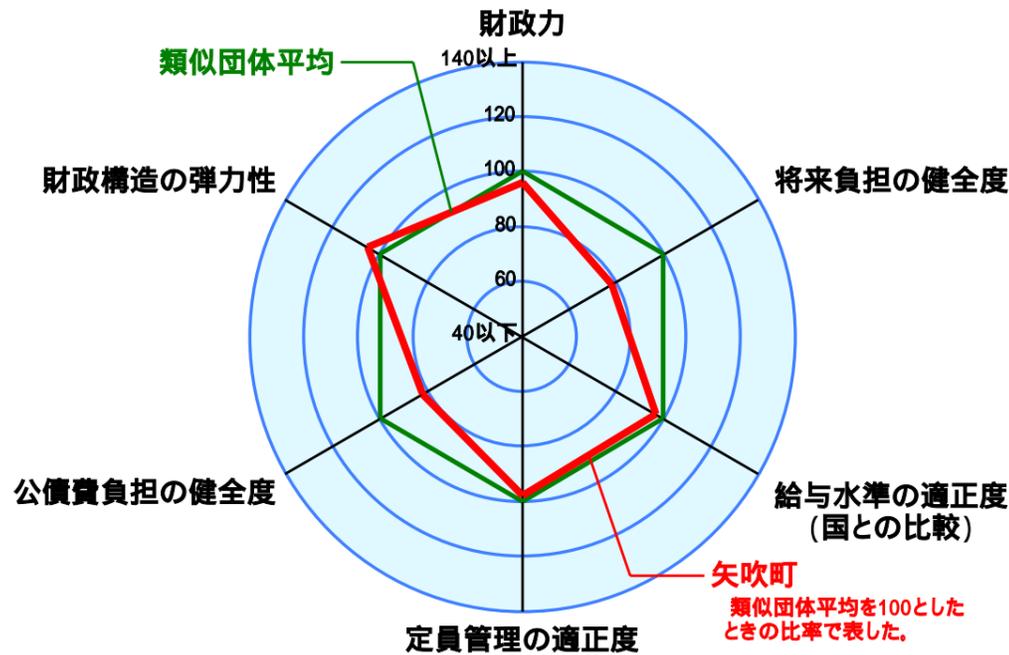
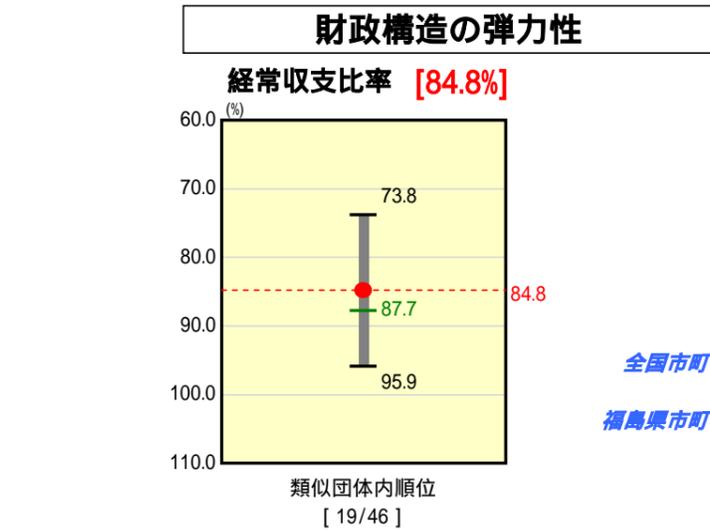
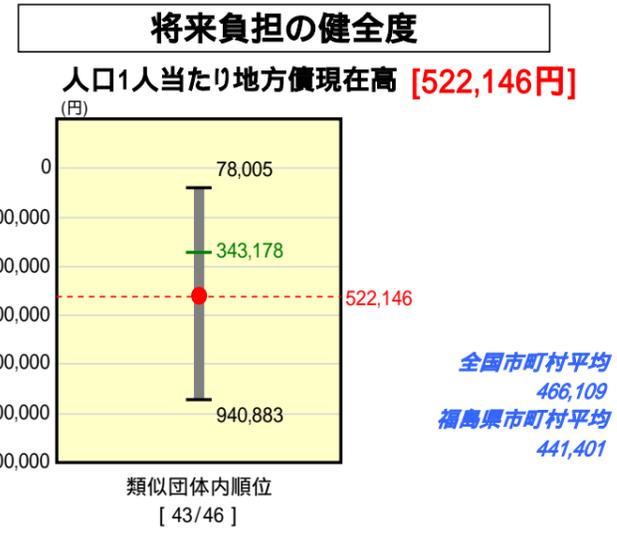
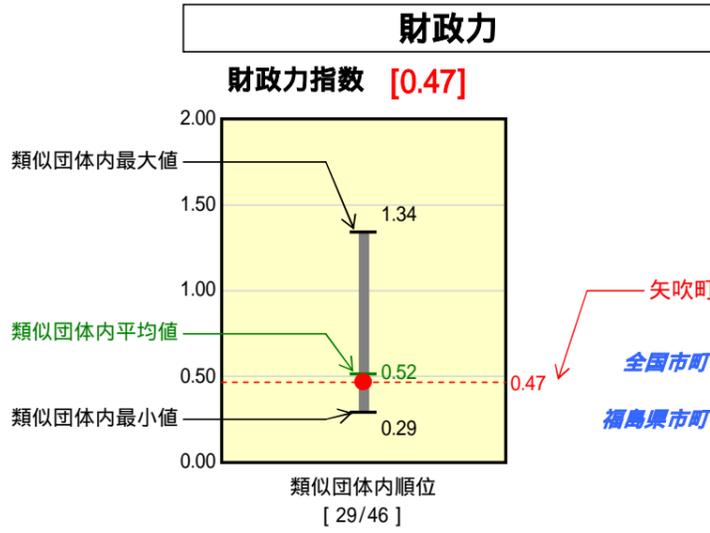


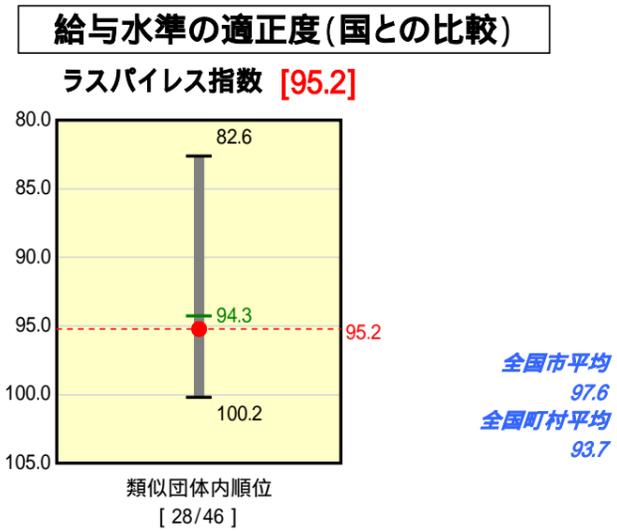
市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

福島県 矢吹町

人口	18,289人(H17.3.31現在)
面積	60.37 km ²
歳入総額	5,717,659千円
歳出総額	5,627,923千円
実質収支	85,788千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



分析欄

財政力指数：平成5年、6年の0.54をピークとして下降に転じ、平成13年度には0.44にまで落ち込んだが、その後、投資的経費の抑制(平成13年度からの3年間で23%の減)により、平成16年度で0.47と、全国市町村平均値まで持ち直してきている。しかし、基準財政需要額の経常経費中厚生費が大幅な伸び(平成13年度からの3年間で23%の増)を見せており、高齢化の進展により今後も増加が見込まれるため、更なる歳出の抑制と歳入確保に努める。

経常収支比率：総務省通知による定員適正化計画に基づき、人件費の削減(対平成12年度比9%の減)に努めているものの、それを上回る扶助費の増加(対平成12年度比70%の増)により経常経費は徐々に増加している。経常一般財源については、地方税、普通交付税の減により平成12年度と比較して3億1千万円の減(対平成12年度比6.5%の減)となっている。現在類似団体平均より良い位置にあるものの、経常経費の増と経常一般財源の減が相まって、指数の悪化に歯止めが掛からない状況である。今後は、指定管理者制度への移行(平成18年度35施設、平成19年度21施設)などにより経常経費の削減に努める。

起債制限比率：類似団体平均と比較して大きく上回っている状況である。要因は下記「人口1人あたり地方債現在高」と同様であるが、元利償還金が平成17年度をピークに減少していくものと予想されるため、徐々に下降していくものと見込まれる。今後、町の総合計画である「第5次矢吹町まちづくり総合計画」及び財政長期計画に基づき、計画的な事業実施に努め、上昇を抑える。

人口1人あたり地方債現在高：類似団体平均を大きく上回る状況となっている。この要因は昭和63年度から平成12年度の白河地方水道用水供給企業団への一般会計出資債等である。平成20年度には矢吹中学校建設事業が予定されており、他事業における地方債発行の抑制により、類似団体平均に近づこう努める。

ラスパイレス指数：旧来からの年功的要素の強い給与体系及び硬直的な行政組織により、類似団体平均を0.9上回る95.2となっている。今後、当該課題を見直し、職務・職責に応じた構造へ転換並びに弾力的・機動的な組織の確立を図り、給与の適正化に努めることにより、平成18年度以降の5年間で類似団体の平均水準である94.3まで低下させる。また、人件費の削減は行政改革の中でも主要な項目として位置づけされており、一層の給与及び定員の適正化に努める。(5年間で、人件費を11.9%削減)

人口1,000人あたり職員数：昭和47年から50年度にかけて、行政需要の急激な増加に対応するため、職員を大量に採用(4年間で40人)したことにより、類似団体を上回っている。17年度作成した新たな定員適正化計画に基づき、退職者の補充抑制や民間委託の推進等により、平成18年度以降の5年間で職員数を9.4%(16人)削減する。

